

第 5 回審議会	
資料 2	R3.10.25

これまでの審議会での主な意見（テーマ別）

1. プラスチック（令和 2 年度第 5 回審議会）

項目	質問・意見
日常生活で課題に思うこと	○刺し身などのパックが大きすぎると感じる。見た目がよく売れるのかもしれないが、国レベルでプラの使用量を削減してほしい。（高橋（勝）委員）
	○野菜のばら売りをもっと進めるべき。（増田委員）
	○ばら売りを進めたり、新聞紙を包装材に使うなど、昔風に戻すことも一つの手法ではないか。（森川委員）
	○ペットボトル飲料等におまけを付けている場合があるが、メーカー働きかけ削減することが必要。（森川委員）
	○通販の緩衝材が多いのが気になる。（高橋（優）委員）
	○コロナ禍のため、プラの包装がとて増えたが、もう少し紙を使うなど売る方も考えてほしいと思う。（津金委員）
事業者の取り組み促進について	○レジ袋有料化の結果、パルコの生鮮関係では 70%レジ袋が減った。パルコは専門店も多い業態なので、市の方からもプラの削減等をキャンペーン等で後押ししてほしい。（峯岸委員）
	○商工会の商業部会には商店街が全部入っているの、SDGs や社会貢献に絡めてアンケートを取り、良い事例を市が推奨したり市民に PR したりすると良いのではないか。（阿部委員）
	○事業所の取り組みを見える化すれば、やる気が出るのではないか。また、ユニリーバの回収事例もあったが、商業部会が取り組んでいく中でコラボするなど、継続的に取り組むことが大事ではないか。（杉崎委員）
	○ごみ減量・リサイクル協力店は、行政からお店に働きかける形だが、もう一方進め、商工会などと絡めて自主的な取り組みの情報を集めて公表するような仕組みを作れないか。例えば簡易包装、減包装の取り組みなど見える化するなど。（山下副会長）
事業者と市民の情報共有、連携について	○歯ブラシのリサイクルなど、事業者や市民団体など、様々な取り組みがあり、顔の見える反映だと協力関係ができやすいので、いろいろな媒体を使って紹介していくとよいのではないか。（江尻会長）
	○消団連ではだいぶ前にスーパーの店長との懇談会を行っていたが、プラについて消費者の意見を伝えるなど、そうした場の設定も一つの方法ではないか。（津金委員）

項目	質問・意見
分別の徹底や市民へのPR啓発など	○平成30年度調査で、燃えるごみの中にプラスチックが6.4%、紙ごみが23.5%入っている。プラだけではなく紙も合わせて、重点強化年間として1年間市民に訴えたらどうか。(三輪委員)
	○長い目で見ると教育が重要である。(三輪委員)
	○100戸以上あるような大規模マンションの分別徹底を集中的に実施したらどうか。(三輪委員)
	○プラスチックは一手間かけて洗って出せば無料だということをアピールしてもよい。(山本委員)
	○古紙や缶などは有価物という認識が市民にも根付いている。プラスチックは一方向的に消費するものだが、お店や集団回収で回収する場合にポイントなど何らかの付加価値があれば、集めることにもう少し積極的になれるのではないか。(長岡委員)
不法投棄・ポイ捨ての防止	○不法投棄、ポイ捨て防止のため、啓蒙活動と市民の実践活動が必要。(増田委員)
その他	○生分解性プラや魚が食べないプラの開発など、安く業者に提供できる制度ができるとよい。(高橋(優)委員)
	○無印良品やマクドナルドでも期間限定でプラ製品を回収していたように思う。(山本委員)

2. (食品ロス) 令和3年度第1回審議会

項目	質問・意見
家庭での食品ロスのリデュース	○家庭内でどう啓蒙していくことが一番のポイントである。冷蔵庫の中身の管理を(賞味期限毎の区分けなど)をPRしていったらどうか。(三輪委員)
	○賞味期限については消費者も気にしすぎではないか。(増田委員)
事業所での食品ロスのリデュース	○パルコでは、店舗内のパンを二葉学園に提供する実証実験を1年間行い、現在は社会福祉協議会の「ここあ」に週1回パンを提供するフードドライブを実施している。利用先は市のごみ対策課や生活スポーツ部と連携して見つけることが出来た。だいたい週1回3~4kgを届けている。(峯岸委員)
	○調布駅、仙川駅と言ったかいわいで飲食店での食べきりキャンペーンを行ったらどうか。(三輪委員)
	○コロナ禍の中で、外食産業に対し何をお願いしていくかということは、今後かなり大きなテーマとなるのではないか。(江尻会長)

項目	質問・意見
	○パルコでの飲食店のドギーバッグについては、保健所の指導もあり実施していない。衛生的な実施方法について市でも前向きに検討していただくと事業者としても取り組みやすい。(峯岸委員)
食品ロスの有効利用について	○消団連では年4回フードドライブを行ってきた。今年度は6月に第1回を市役所で実施予定。預かるものは賞味期限ぎりぎりのものが多いが、一応預かっている。(津金委員)

3. 枝・草・葉（令和3年度第2回審議会）

項目	質問・意見	(備考) 審議会での事務局回答
枝・草・葉の資源化方法の比較について	○資源化方式のメリット・デメリットの比較で、町田市の事例のコストが施設費や運転費で出ているのに対し、小金井市ではトンあたりの費用という形になっており、やや比較しにくい。可能であれば比較できるような形にして欲しい。(山下副会長)	
	○コスト面の比較はわかりやすく示して欲しい。(杉崎委員)	
	○近隣市の事例を見て、いいところ取りをして、コストがあまりかからない方法を考えてもらいたい。(三輪委員)	
	○資源化に際してはエネルギーバランスが大事と考える。焼却処理・エネルギー回収・灰のエコセメント化と、小金井市のように枝・草・葉を全て群馬県に運び資源化するのと、定量的に示して欲しい。(増田委員)	
剪定枝のチップ化事業について	○チップカーでの処理を申し込む場合の枝の太さの上限は。また、どの位の量であれば来てもらえるか。(森川委員)	○太さは8cmを目安にしている。また、量は一束30cm程度を目安に、一束以上と考えている。
	○チップカーの運用もコストがかかるので、最低限のコストで300～500円くらいから費用負担を考えても良いのではないか。(三輪委員)	

項目	質問・意見	(備考) 審議会での事務局回答
枝・草・葉の自己利用について	○枝をキャンプ場のバーベキューで巻きに使うなど、他の使い道を考えるのも必要ではないか。(森川委員)	
	○枝・草・葉は発生元で処理できれば一番良いので、コンポスト化を推奨したらどうか。それが出来ない場合も、極力乾燥させれば可燃ごみとしての重量が減るので、甲府市のように「雨の日は出さないで欲しい」と啓発した方が良い。(増田委員)	
	○「草・葉の有効利用が現状では出来ない」ことに対して、今後どのような可能性があるか。(杉崎委員)	○刈り取った草の乾燥・マルチとしての利用や、コンポストの補助制度の活用など、市民にPR出来ないかと考える。
	○草・葉などはしょっちゅう出るので、庭に都度穴を掘って埋めるやり方もあるのではないか。(三輪委員)	
その他	○市内の造園業者は剪定枝をどう処理しているのか。(三輪委員)	○ごみ対策課で昨年度調査した起ころ、資源化業者委託や自社処理、ふじみ衛生組合での処理など様々である。
	○枝や葉は季節変動がかなり大きいので、収集業務がスムーズにできる方法を検討して欲しい。(長岡委員)	

4. 古紙類（令和3年度第3回審議会）

項目	質問・意見
雑がみの分別徹底について	<p>○紙製容器包装には容り法に基づく「紙マーク」が付いている。しかし、カップ麺のカップなど通常では「禁忌品」となるものにも付いており、分りにくい。市の分別カレンダーにも記載して欲しい。(増田委員)</p> <p>○ヨーグルトの箱も出す際に迷う。「ザ・リサイクル」でも禁忌品の啓発を行っていたが、もっと徹底した方が良いと思う。(津金委員)</p> <p>○ザ・リサイクルを通じた啓発を進めてほしい。(山本委員)</p> <p>○紙の広報を市民はどの位見ているのか。それ以外の周知方法を検討できないか。(森川委員)</p>

項目	質問・意見
	<p>○もともと調布市では紙を細かく分別して集めてきた実績がある。市民にさらなる協力を求めるにはどうすれば良いか、品質を上げるメリットをどう伝えるかを議論して欲しい。(岩本部長)</p> <p>○元々市民の分別協力度合いが高いのでさらに進めるのは難しいが、最近開始したシュレッダー紙回収など、一歩ずつ進めてほしい。 また、子供会などの集団回収で、常に雑がみ分別に詳しい人が地域の中に一定数いるような形にしていけないか。そのために集団回収の奨励金を上げたり、集団回収の情報提供を手厚くしたりするなどの方法が考えられないか。(山下副会長)</p> <p>○雑がみを本と一緒に分類できないか。(三輪委員)</p> <p>○リサイクルの情報に普段触れていない人に情報を届けるように、電子媒体などを活用しても良いのではないか。(杉崎委員)</p> <p>○調布市ごみアプリはどの程度利用されているか。また、古紙価格が不安定で有償引き取りが出来ないことも考えられ、将来を見すえて(有料化など)考えて良いのではないか。 →ごみアプリのダウンロード数は7月末時点で約4万1千件(人口の約18%)となっている。</p> <p>○行政収集を担当している立場からすると、単身者が住んでいる共同住宅は古紙に限らず分別が徹底されていないことは感じる。 紙の分別に関する問い合わせを見ても理解を進めるのは大変なので、そこそ小学校レベルから教えていかなければならないかもしれない。(長岡委員)</p> <p>○委員からの質問には書面で回答したいと思う。 調布市は、市民が紙を分別する土台はできていると思うが、分別の品質は低く、この10年言い続けているが改善していない。 スマホを活用し、市民に正しい紙の分別をチェックできるようにするなどを検討して欲しい。(佐々木委員)</p>
個人情報保護について	<p>○個人情報保護されるという保証が欲しいので、行政が回収の受け皿を作って欲しい。(増田委員)</p> <p>○写真をシュレッダーにかけたものはリサイクルできないと考えて良いか。 (森川委員) →通常のOA紙にプリントされたものはリサイクルできるが、写真専用紙にプリントされたものはリサイクルできない。(佐々木委員)</p> <p>○名刺や領収書なども出し方が分かり、きちんと回収できる方法を考えて欲しい。(三輪委員)</p>